

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月16日～3月22日)

2019年4月8日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領が情報の安全保障コンセプトを承認(3/18)
- ロシア外務省声明:ロシアはベラルーシとの間で、感情や不必要なハレーションのない作業を継続したい。(3/21)
- メディアの自由を担当するデジール OSCE 代表がベラルーシを訪問。(3/18-19)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●情報の安全保障コンセプトを承認

18日、大統領自身の指示で作成された「ベラルーシ共和国の情報の安全保障コンセプトに関する」国家安全保障会議決定に署名。同コンセプトでは、情報セキュリティ分野の人材育成とその評価のための国際レーティングの活用、商売・職能・銀行の秘密保持に力点が置かれている。

(3/18 大統領公式サイト, ベラパン通信)

●通信市場の発展に関する会議を開催

19日、大統領は発展の方向性としてハイテクとモノのインターネット(IoT)に言及。ベラルーシは現在、国際電気通信連合(ITU)のICT発展指数で32位であり、ICTインフラの高水準国に数えられている。国内では2019年1月1日時点で334件の通信サービス免許が発行されている。同市場の主要なプレイヤーは国営固定通信事業者ベルテレコム及び国立通信取引センター、民営の携帯電気通信事業者であるMTS, Velcom, BeST, インフラ事業者ベラルーシ・クラウド・テクノロジー。

(3/19 大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

●プレスト州に出張

22日、同州のバラノヴィチ市において、ごみのリサイクルの重要性に言及。EBRDが再生原料加工の分野で融資の用意があるのだから、ベラルーシはこれ

に取り組まなければならない旨発言。

(3/22 大統領公式サイト, ベラパン通信)

【内政】

●オストロヴェツ原発に関するリトアニア高官の発言

・18日、グリバウスカイト・リトアニア大統領は、スクヴェルネリス同国首相がオストロヴェツ原発をガス火力発電所に造り変えることを(3/7 付ルマス首相宛書簡で)ベラルーシに提案したことにつき、対外政策に関する決定は大統領の専権事項であるとして、憲法に反する行為だと批判。

・20日、スクヴェルネリス首相は、リトアニア政府は同原発のガス火力発電所への造り変えの資金源をEUで探すことを支援しても良いと発言。

(3/18, 20 ベラパン通信)

●メディアの自由を担当するデジール OSCE 代表がベラルーシを訪問。(3/18-19)

・18日、非政府ウェブ出版社 tut.by を訪問し、非政府系報道関係者と会見。ジャーナリストからは、記者登録に伴う困難や登録不備に対する罰金、政府高官の出席行事へのアクセスと国家機関への取材の難しさなどの問題が指摘された。

・19日、マケイ外相と会談。詳細は非公表。

・20日、メディア・インタビュー。過激主義との戦いは重要だが、報道の自由に悪影響を与えてはならないと強調。

(3/18, 20 ベラパン通信, 3/19 外務省公式サイト)

●欧州評議会の汚職との戦いに関する国家グループ(GRECO)がベラルーシ当局を批判。(3/19)

GRECO は、ベラルーシ当局が同グループの勧告を実施しておらず、欧州評議会の汚職対策の基準を順守していないとして憂慮を表明。

(3/19 ベラパン通信)

●無政府主義活動家のドミトリー・ポリエンコ氏拘束

同氏は 20 日朝、ミンスクの自宅で拘束された。刑法 339 条 3 の犯罪「特に悪質な暴力行為」の実行に関する嫌疑によるもの。

(3/20 ベラパン通信)

【外交】

●ロシア外務省声明:ロシアはベラルーシとの間で、感情や不必要なハレーションのない作業を継続したい。(3/21)

バービチ駐ベラルーシ露大使のインタビューでの発言後、ベラルーシとロシアの間で続いていた批判の応酬に関し、21 日、露外務省が声明を発表。「ベラルーシはロシアにとって兄弟国であり、最も信頼できる戦略的パートナーである。感情や不必要なハレーションのない具体的成果の達成に向けた、冷静で軌道に乗った作業を継続したい。」と表明。

(3/21 露外務省公式サイト、ベラパン通信ほか)

●ダブキユナス外務次官の中国訪問(3/18-19)

双方は、第2回「一帯一路」国際フォーラムへのベラルーシの参加や 4 月初めの中国全人代代表団のベラルーシ訪問の詳細について議論。

(3/19 外務省公式サイト、ベラパン通信)

●ポーランド、第二次大戦開戦 80 周年行事にルカシエンコ大統領を招待。プーチン露大統領は招待せず。

在ベラルーシ・ポーランド大使館によると、(1939 年 9 月 1 日の)第二次大戦開戦から 80 周年に際する行事へのルカシエンコ大統領宛招待状は、すでに発

送済みだが、返答は未接到。同行事への招待状は、NATO, EU, 当方パートナーシップ諸国には送付されているが、ポーランド大統領報道官によると、プーチン露大統領の同行事出席は拒否することが決定された。

(3/20 ベラパン通信)

【経済】

【国内経済】

●クルトイ経済大臣が中国-ベラルーシ協力フォーラム組織委員会を主宰。

2019 年 3 月 21 日付首相指令第74号により、「一帯一路」構想の一環として、中国-ベラルーシ協力と地域の発展に関するフォーラム 2019 の実施準備のための組織委員会が創設された。

同組織委員会の議長はクルトイ経済相、副議長はウラホヴィチ・ベラルーシ商工会議所会頭。委員会のメンバーには、中国ベラルーシ産業特区「巨石」、ベラルーシの財務省、情報省、外務省、文化省、運輸通信省、スポーツ観光省、さらに国家投資・民営化庁、ミンスク市執行委員会(市役所)、ミンシク州執行委員会(州行政府)の代表者が名を連ねる。

(3/21 国営ベルタ通信)

【統計・その他】

●2018 年の石油関連国庫収入は前年比 1.5 倍増

財務省が発表した共和国予算執行に関する資料によると、国内で採掘された原油の輸出や石油製品の輸出に係る関税を含む石油関連国庫収入は、前年比 55.6%増の 24 億 6,620 万ルーブル。共和国予算に占める石油関連収入の割合は、2017 年が 8%、2018 年が 10.1%であった。

(3/19 ベラパン通信)

(了)